

平成30年度事業計画

1. 基本的な方向性

- ・ エネルギー分野は、市場規模が大きく、また、めまぐるしく情勢が変化する中で、新たなビジネスを生み出す可能性を秘めている。
- ・ 一方、大企業や大手新興企業の動きが活発である中、発電事業や発電に付帯する工事受注以外に、地場中小企業が、新製品やデバイス、サービスで新しいビジネスを見いだすことは決して容易ではない。
- ・ そこで、本企業会では、研究開発から人材育成、販路開拓まで切れ目無く支援するとともに、有望分野への新たな取組へと連鎖させ、県内エネルギー関連産業の成長を促進していく。
- ・ 平成30年度は、特に水素社会の到来に向けた水素関連産業の事業化支援や、地域と産業を有機的に結びつけ、エネルギーの効率的な活用を図るスマートコミュニティの形成等を支援するほか、これまでの企業会の成果である湯けむり発電や県内企業連携による小水力発電関連システム等への販路開拓の支援をこれまで以上に強化していく。

2. エコエネルギーチャレンジ支援

会員企業のエネルギーに関するチャレンジングなビジネス展開を総合的に支援

(1) 研究開発支援（水素・スマートコミュニティ分野）

- ・ 会員から、「新製品や部品の開発」、「試作品の実証試験」などの事業プランを募集
- ・ 有識者による審査会を経て、採択された事業プランに対し、必要経費の一部を助成

【補助率】 2 / 3 以内

【補助上限額】 1, 000 万円

【その他】 単独企業による事業プランより、複数企業及び研究機関、大学等と連携した事業プランを優先

(2) 分野別支援（全分野）

- ・ 会員企業同士の意見交換会や、先進企業や専門家等を招いてのセミナーによる連携会議を開催
- ・ 国の補助金や規制緩和要望、大学や研究機関との連携などについて、事務局がサポート

3. エネルギービジネスマッチング事業

地場企業が開発した製品のシェア拡大を図るため、発信力、販売力のある県外企業へ委託し、PR・広報事業等を実施

4. その他の取組

(1) 展示会への出展

- ・「スマートエネルギーWeek 2018」等への出展

(2) 最新情報等に関するセミナーの開催

- ・再生可能エネルギーや省エネルギー分野に係る最新技術の情報、支援制度など、会員のニーズを把握したうえでテーマを設定し、専門家を招いたセミナーを開催
- ・会員企業の製品サービスのPRの場とするため、セミナーの開催にあわせた商談交流会を実施

(3) コーディネーターの設置

- ・再生可能エネルギー分野においては、専門分野に応じた人員を配置
- ・省エネルギー分野においては、国の補助金を効率的に活用し、県内企業製品の売り込みなどを強化

① 新エネコーディネーター

業務内容	再生可能エネルギー設備（発電・熱利用）の導入に係る相談受付、現地調査、事業性アドバイス、各種法令手続のサポート
配置人材	【再生可能エネルギー全般】 (株)シーエルアイから派遣 【地熱・温泉熱発電及び熱利用】 ジオテック(株)から派遣 【湯けむり発電システム】 地熱ワールド工業(株)から派遣

② 省エネコーディネーター

業務内容	補助、融資等の支援制度や省エネ設備に関する情報提供、支援制度の利用手続のサポート、省エネ設備サプライヤーの斡旋等
配置人材	NPO法人大分県地球温暖化対策協会より派遣

(4) エコエネルギーカードの作成

- ・会員企業が設置したエコエネルギー施設を地域に誇れる施設として県内外にPRし、再生可能エネルギー活用の重要性を理解し、興味を持っていただけるよう、エコエネルギー施設ごとに写真やイラスト、発電所情報を掲載した「エコエネルギーカード」を作成し、施設の見学者に配布

(5) 専用ホームページ

- ・企業会の取組について情報発信

(6) 会員向けのメールマガジン

- ・国、県等の支援施策情報をメールマガジンにより会員へ随時配信

(7) その他

- ・その他必要な事業については、適宜、企画運営委員会において検討し、実施する。